

単元	指導内容	評価規準
「レタリング」 明朝体・永 明朝体・氏名	① 朝体の学習をととして、文字のバランスやプロポーションを学ぶ。 ② 明朝体で名前を書く。 見本を写すのではなく、点画を組み合わせて自分の名前を明朝体にしていく。 ③ 答え合わせ・振り返り・鑑賞	(態度) 美しくデザインされた文字に関心を持ち、その知識を生活に生かす。 (思・表) 点画的特徴的な形に気づき、文字のバランスなどに気を付ける。 (知・技) 文字の塗りつぶしや定規を使った直線ができている。 (態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。
「色を学ぶ」 「色相環づくり」	① 色の三要素を知り、三原色で色相環を作り、色彩の変化と調整に気付かせる。 ② 筆や絵の具の基本的な使い方を学び、適切な着色の方法を知る。 ③ 振り返り・鑑賞	(態度) 積極的に作業に取り組み、片付けや準備が適切に行える。 (知・技) 色相環の構造を理解する。明確な色の変化を作り、混色できる (知・技) 水彩で混色やムラのない平塗ができる。はみ出さずに塗る。 (知・技) 色相環や色立体の面白さを知る。
「環境ポスター」 アイデアスケッチ	① 環境をよくする絵画コンクールに応募するためのポスター作りを学ぶ。 ② 意味を伝えるポスターの理解。 ③ アイデアスケッチからラフスケッチなど構想をまとめる方法を知る。 ④ 色や文字の役割を知る。 ⑤ 本制作は夏休みの課題	(知・技) 積極的に制作している。 (思・表) 見た人に伝わるような、的確な配色・構成している。 (知・技) モチーフを正確にスケッチしている。美しい平塗ができている。 (態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。
「空想画とモダンテクニック」	① モダンテクニックの技法と偶然できた形から生まれる自由な発想を、教科書の作品を中心に学ぶ。 ② 筆で描くことにとらわれず、モダンテクニックを使って偶然できた形をもとに作品を作る。 ③ 作品を見る人のことを考え、想像力を広げるような題名をつける。 (文化祭展示作品)	(態度) 積極的に作業に取り組み、準備や片付けが適切に行える。 (思・表) 偶然できた形や、技法を発想豊かに扱うことができる。 (知・技) 説明の通りに道具や技法を適切に使っている。 (態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。
「紙で作る版画」	① コラグラフの技法を学び、版画の特徴と版を刷る楽しさを知る。 ② 紙に凹凸のある材料を貼り版を作る。 ③ ポストカードに版を刷り作品を完成させる。	(態度) 積極的に作業に取り組み、準備や片付けが適切に行える。 (思・表) 作品の特徴に気づき、完成作品を創造して版を作っている。 (知・技) 版ずれやインクのムラに気を付けて版をすることができる。
「暮らしの中の木の工芸品」 箸のデザイン	① 生活の中にあるデザインに目を向け、使うことを考えたデザインについて学ぶ。 ② 木食器として箸をデザインする。 ③ 六面図を描き、アイデアを具体化させる。 ④ 彫刻刀の使い方を学び、木彫で形を彫りだす。 ⑤ 彩色し、ニスで仕上げる。 ⑥ 振り返り・鑑賞	(態度) 積極的に制作している。安全に配慮し、片づけなどもしっかりできる。 (思・表) 制約のある中で、自由にアイデアを出している。彫刻刀の使い方を理解する。 (知・技) 制作手順を理解し美しく制作している。 (知・技) 自分の感じ方を大切にしながら、美術作品に親しみ、自分の考えを述べることができる。
作品鑑賞会	① 制作した作品を振り返り、鑑賞会をする ② 感想カードを書き、感想を発表する	(知・技) 自分の感じ方を大切にしながら、美術作品に親しみ、自分の考えを述べることができる。

参考図書 「教科書 美術1」

副教材「美術資料 東京の美術」 「レタリング・ポスターの資料」他